

当PDF文書は上に示されている企業に関する詳細レポートのアップデート版として作成されたものです。
 詳細レポート全体につきましては[弊社ウェブサイト](#)をご覧ください。

2018年11月9日、株式会社シンクロ・フードは2019年3月期第2四半期決算を発表した。

四半期業績推移 (累計) (百万円)	17年3月期				18年3月期				19年3月期		19年3月期	
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q**	1Q	1-2Q	進捗率	通期会予
売上高	249	507	755	1,052	324	662	1,006	1,377	428	827	44.8%	1,846
前年同期比	-	-	-	23.9%	29.9%	30.6%	33.3%	30.9%	32.0%	24.9%		178.8%
売上総利益	226	461	685	958	291	593	902	1,234	386	724		
前年同期比	-	-	-	27.3%	28.6%	28.6%	31.6%	28.8%	32.6%	22.0%		
売上総利益率	90.7%	91.0%	90.8%	91.0%	89.8%	89.6%	89.6%	89.6%	90.2%	87.6%		
販管費	116	241	369	507	150	302	455	639	210	427		
前年同期比	-	-	-	17.4%	29.3%	25.1%	23.3%	25.9%	39.8%	41.6%		
売上高販管費比率	46.5%	47.6%	48.9%	48.2%	46.3%	45.6%	45.2%	46.4%	49.0%	51.7%		
営業利益	110	220	316	451	141	292	447	595	176	297	44.9%	661
前年同期比	-	-	-	40.5%	27.9%	32.4%	41.4%	32.1%	24.9%	1.7%		126.7%
営業利益率	44.3%	43.4%	41.9%	42.8%	43.6%	44.0%	44.5%	43.2%	41.2%	35.9%		35.8%
経常利益	109	198	289	423	141	267	423	570	176	297	44.9%	661
前年同期比	-	-	-	31.1%	29.3%	35.1%	46.1%	34.7%	24.9%	11.2%		147.7%
経常利益率	43.8%	39.0%	38.3%	40.2%	43.6%	40.3%	42.0%	41.4%	41.2%	35.9%		35.8%
当期純利益	69	122	182	265	88	168	268	364	112	186	41.9%	444
前年同期比	-	-	-	26.1%	26.7%	38.2%	47.3%	37.6%	27.7%	10.6%		164.0%
当期純利益率	27.8%	24.0%	24.1%	25.1%	27.2%	25.4%	26.7%	26.4%	26.3%	22.5%		24.1%

四半期業績推移 (3ヵ月) (百万円)	17年3月期				18年3月期				19年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
売上高	249	258	248	297	324	338	344	371	428	399
前年同期比	-	-	-	-	29.9%	31.3%	38.8%	24.8%	32.0%	18.0%
売上総利益	226	235	224	273	291	302	309	332	386	338
前年同期比	-	-	-	-	28.6%	28.6%	37.8%	21.8%	32.6%	11.8%
売上総利益率	90.7%	91.2%	90.3%	91.7%	89.8%	89.4%	89.7%	89.5%	90.2%	84.7%
販管費	116	125	128	139	150	152	153	184	210	218
前年同期比	-	-	-	-	29.3%	21.3%	19.7%	32.9%	39.8%	43.3%
売上高販管費比率	46.5%	48.6%	51.5%	46.6%	46.3%	44.9%	44.4%	49.6%	49.0%	54.5%
営業利益	110	110	96	134	141	150	156	148	176	120
前年同期比	-	-	-	-	27.9%	37.0%	61.8%	10.4%	24.9%	-20.0%
営業利益率	44.3%	42.6%	38.9%	45.1%	43.6%	44.5%	45.3%	39.9%	41.2%	30.1%
経常利益	109	88	92	134	141	126	156	148	176	120
前年同期比	-	-	-	-	29.3%	42.2%	69.7%	10.2%	24.9%	-4.2%
経常利益率	43.8%	34.3%	37.0%	45.1%	43.6%	37.2%	45.3%	39.8%	41.2%	30.2%
当期純利益	69	52	60	82	88	80	100	96	112	74
前年同期比	-	-	-	-	26.7%	53.4%	65.6%	16.3%	27.7%	-8.1%
当期純利益率	27.8%	20.3%	24.4%	27.7%	27.2%	23.7%	29.1%	25.8%	26.3%	18.5%

出所：会社データよりSR社作成

*表の数値が会社資料とは異なる場合があるが、四捨五入により生じた相違であることに留意。

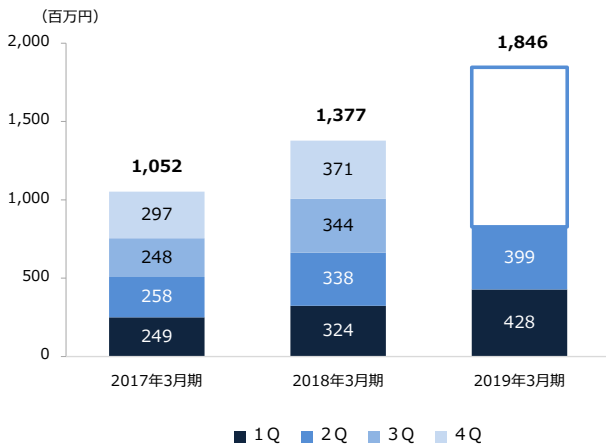
**同社は2018年3月期第4四半期より連結決算を開始したため、同期の累計は非連結3期分を含む。また、前期比は前期単独決算実績との比較となっている。

第4四半期（1月から3月）に売上高が膨らむ季節性

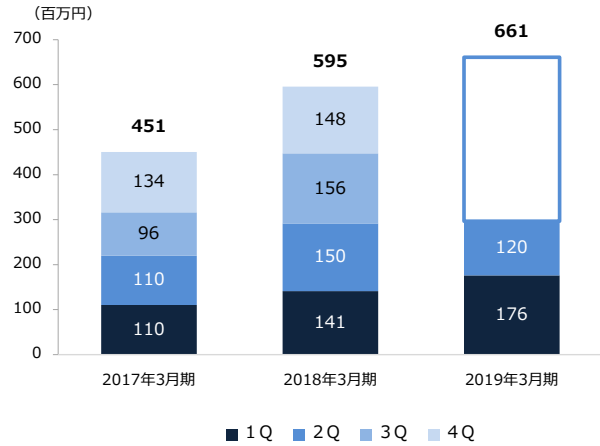
同社におけるビジネスには季節性があり、第4四半期における売上高が他の四半期における売上高に比べて数%高めになる傾向がある。これは、飲食店の開業数が3月から4月にかけて増加する傾向があるからである。それに対応して、人材に対する需要が高まる時期に備えた求人広告掲載依頼が、2月、3月に増加する。例えば2017年3月期決算の場合、第1四半期から第3四半期までの売上高が、年間の売上高に対して24%程度で推移しているのに対し、第4四半期は同28.3%と、約4%程度高めになっている。同様に営業利益をみると、第1四半期から第3四半期までが年間の営業利益に対して24%程度（ただし、当期は第3四半期にコスト増があり、この期のみ同21%台となっている）で推移しているのに対し、第4四半期は同29.8%と約5%高めになっている。

さらに、同社のサイトには出店を準備している飲食店経営者向けに、不動産物件や内装工事などの情報も掲載されているために、売上高、営業利益も飲食店の出店タイミングに影響される。なお、残る第1四半期、第2四半期、第3四半期はおおむね同じ水準で推移することが多い。

四半期別売上高の推移

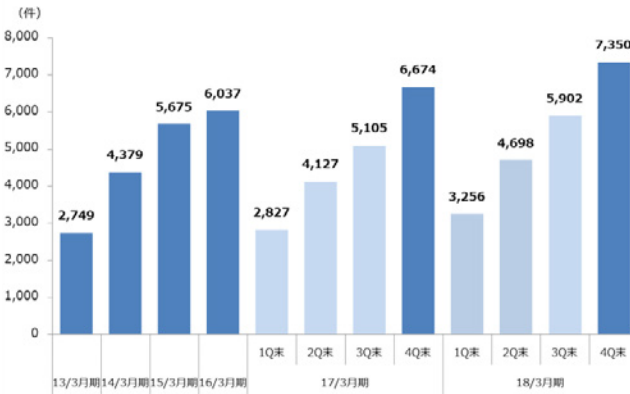


四半期別営業利益の推移

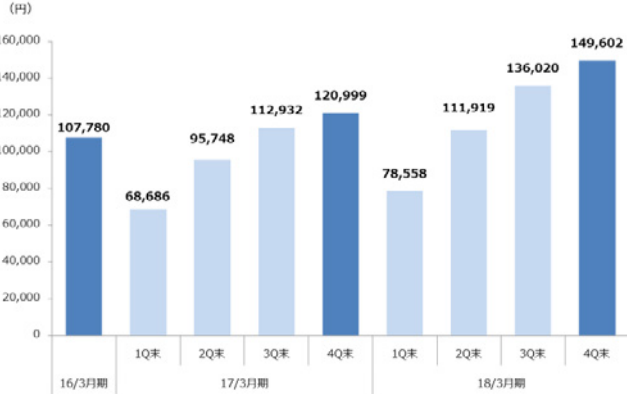


出所：会社データよりSR社作成
 **同社は2018年3月期より連結決算を開始しているため同期は連結実績。

有料ユーザー数の推移

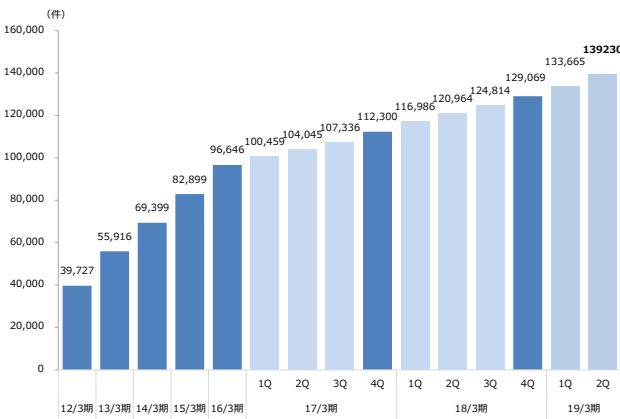


有料ユーザーの期間単価の推移

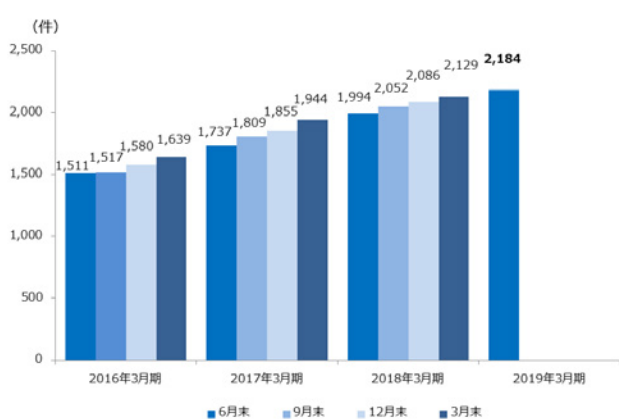


出所：会社データよりSR社作成
 *期中累計

四半期ごとの登録ユーザー数の推移（累計）

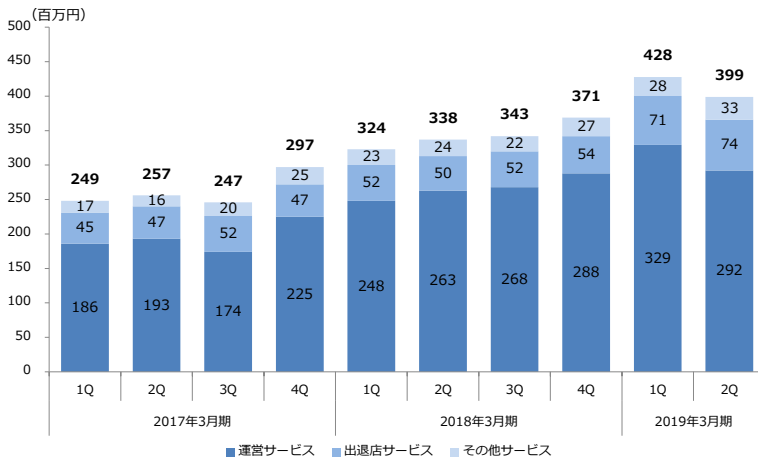


四半期ごとの登録不動産業者数の推移（累計）



出所：会社データよりSR社作成

サービス区分別四半期売上高の推移



出所：会社データよりSR社作成

2019年3月期第2四半期実績（2018年11月9日発表）

収益動向：

2019年3月期第2四半期の業績は、売上高827百万円（前年同期比24.9%増、2018年3月期第2四半期個別決算実績との比較、以下同様）、営業利益は297百万円（同1.7%増）、経常利益は297百万円（同11.2%増）、純利益は186百万円（同10.6%増）となった。営業利益率は、35.9%（前年同期実績44.0%、2019年3月期見通し35.8%）と8.1ポイント下落したが、これは株式会社ウィットが2018年2月より連結子会社となり、のれんの償却が発生している影響である。

同社はインターネットメディア事業の単一セグメントであるため、セグメント情報による開示はない。サービス別の売上高の内訳は、運営サービス621百万円（前年同期比21.6%増）、出退店サービス145百万円（同41.9%増）、その他サービス61百万円（同29.1%増）となった。なお、従来四半期で開示していた有料ユーザー数、有料ユーザーの期間単価については、同社のサービスメニューが増加し、少額サービスも加わったため、従来の期間単価とは乖離した、非連続的な単価を開示することの影響度を考慮し、年度末での開示となった。

ユーザー、関連事業者の登録状況：順調な増加

一般社団法人日本フードサービス協会「外食産業市場動向調査2018年9月度結果報告」によれば、飲食業界に関しては、度重なる台風上陸等による天候不順の影響に加え、原材料価格の高騰や人手不足に伴う人件費等のコスト上昇等があるものの、全体の売上高は前年をやや上回る水準で推移している。同社の出店開業・運営支援サイトである「飲食店.COM」においては、2018年9月末時点における登録ユーザー数が139,230件（前年同期比15.1%増）と順調に増加した。また、「飲食店.COM」に対してサービス提供する不動産事業者や食材仕入業者などの関連事業者（注1）も、積極的な営業施策により3,863社（同6.7%増）と順調に増加している。

注1：当該事業年度末において、不動産業者、内装業者、食材仕入事業者として登録している事業者数

財政状態：増収増益に伴う現金及び預金の増加

同社は、2018年3月期より連結決算に移行しており、2019年3月期第2四半期末の連結総資産は2,707百万円と、2018年3月期末比で145百万円の増加となった。流動資産は2,437百万円と、同143百万円の増加となった。主な要因は、売上増加による現預金の増加（同165百万円増加）である。固定資産は270百万円と、同2百万円の増加であった。

2019年3月期第2四半期末における連結負債合計は358百万円で、同41百万円減少した。連結純資産合計は2,349百万円で、同186百万円増加した。その要因は利益剰余金の増加（同186百万円増加）である。

2019年3月期通期の会社見通しは変更なし。

このリサーチメモは、掲載企業の[最新版レポート](#)にも掲載されています。

株式会社シェアードリサーチは今までにない画期的な形で日本企業の基本データや分析レポートのプラットフォーム提供を目指しています。さらに、徹底した分析のもとに顧客企業のレポートを掲載し随時更新しています。

ディスクレーム

本レポートは、情報提供のみを目的としております。投資に関する意見や判断を提供するものでも、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。SR Inc.は、本レポートに記載されたデータの信憑性や解釈については、明示された場合と黙示の場合の両方につき、一切の保証を行わないものとします。SR Inc.は本レポートの使用により発生した損害について一切の責任を負いません。

本レポートの著作権、ならびに本レポートとその他Shared Researchレポートの派生品の作成および利用についての権利は、SR Inc.に帰属します。本レポートは、個人目的の使用においては複製および修正が許されていますが、配布・転送その他の利用は本レポートの著作権侵害に該当し、固く禁じられています。SR Inc.の役員および従業員は、SR Inc.の調査レポートで対象としている企業の発行する有価証券に関して何らかの取引を行っており、または将来行う可能性があります。そのため、SR Inc.の役員および従業員は、該当企業に対し、本レポートの客観性に影響を与える利害を有する可能性があることにご留意ください。

金融商品取引法に基づく表示

本レポートの対象となる企業への投資または同企業が発行する有価証券への投資についての判断につながる意見が本レポートに含まれている場合、その意見は、同企業からSR Inc.への対価の支払と引き換えに盛り込まれたものであるか、同企業とSR Inc.の間に存在する当該対価の受け取りについての約束に基づいたものです。

連絡先

株式会社シェアードリサーチ / Shared Research Inc.
東京都文京区千駄木3-31-12
HP: <https://sharedresearch.jp>
TEL : (03)5834-8787
Email: info@sharedresearch.jp